

国見町における被害状況（公共施設）



液状化により浮上した下水道マンホール。至る所でこのような現象が見られた。



崩落した主要地方道白石国見線、小坂峠。



町道9号線、徳江字館ヶ崎地内。通行不能。



全壊した塚野目町営住宅。入居していた方は外出しており無事だった。



東北新幹線蔵王トンネル出口付近。架線電柱は軒並み傾いた。

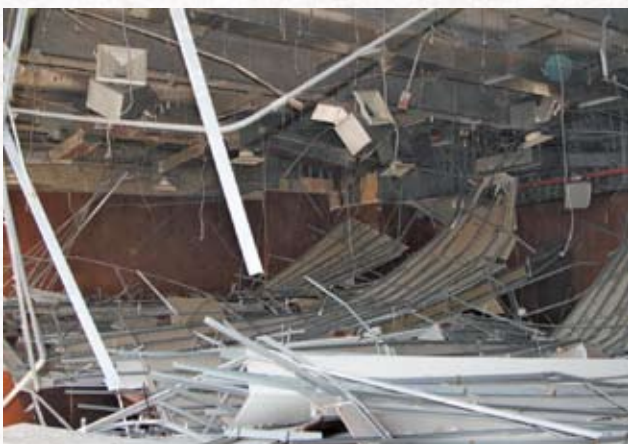
国見町における被害状況



JR 東北本線藤田駅。入口の柱が土台から外れ危険な状態となり立ち入り禁止に。



地震直後の庁舎内部。当日は税の申告相談期間中であったが、大きなケガもなく避難誘導できた。



庁舎内3階議場。議会は中学校の卒業式もあって休会日であり無人であった。



庁舎玄関風除室。丈夫なガラスは、激しい揺れで粉々になっていた。



庁舎西側車庫に格納されていたマイクロバスは、揺れによりシャッターを突き破っていた。

災害対策本部・避難所



震災当日夜の災害対策本部。錯そうする情報、状況把握は困難を極めた。(3月11日午後10時ころ)



備蓄食料であるアルファ化米などを炊き出す作業が昼夜問わず続けられた。



余震におびえながら一晩過ごした避難者の皆さん。ピーク時には1600名を超える避難者数を数えた。(観月台文化センター体育館 3月12日8:00頃)

町のようす（被害の状況）



物資の不足



給油待ちのため、列を作る車。
(3月15日 10:00 頃、国道4号線)



生活必需品の入手も困難を極めた。
(上：コープマーケット国見店、左下：コメリハードアンドグリーン国見店、右下：ハシドラッグ国見店)



大規模断水



すりかみ浄水場からの送水管の破損により大規模断水が発生、給水車到着時には大勢の町民の皆さんが行列を作った。



地元町内会、消防団協力して作業を進める。給水は、各地区避難所でも行われた。



給水のため県内・県外自治体からの支援を受けた。写真は「島根県浜田市」から来ていただいた給水車。



大型タンクローリーで浄水場との間をピストン輸送。大量に水を必要とする病院を中心に給水を担っていただいた。

ボランティアの活動



復旧から復興へ



県内でもいち早く進められた仮設住宅の建設。



資材不足の懸念の中、懸命の復旧作業が続いた。



原発事故による放射性物質の影響で一時「耕うん見合わせ」の後、4月7日以降は解除された。トラクターの音が響き渡る。



仮置き場が決まり、住宅地の除染も飛躍的に進んでいる。



未来を担う皆さん、ありがとう。



